

県政協議会

平成二十九年十一月二十一日(火)

午前十時三十分

- 一、平成二十九年十二月補正予算(案)の概要について
- 二、知事のタイ訪問結果について
- 三、その他

平成29年度12月補正予算（案）の概要について

平成29年11月21日

（単位：千円）

一 予算規模

1 一般会計

補 正 額 3,871,312

補正後の規模 615,225,808

前年度12月補正後予算との対比 Δ 22,770,427
(3.6%減)

《補正予算の財源》

特定財源 3,392,751

国庫支出金 1,498,319

繰入金 68,260

県債 1,781,000

その他 45,172

一般財源 478,561

繰入金 478,561

2 特別会計

<債務負担行為>

能代港エネルギー基地建設用地整備事業特別会計 (13,817,000)

港湾整備事業特別会計 (1,840,000)

3 企業会計

電気事業会計 △3,281

工業用水道事業会計 835

二 補正予算（案）の主な内容

今回の補正予算（案）は、7月及び8月の大雨による被害対策として緊急を要する事業、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業のほか、公共事業の発注を前倒しするための債務負担行為等について計上した。

I 災害復旧対策

- (1) 災害復旧対策事業 2,829,669
被害を受けた土木施設の復旧とあわせ、今後の災害防止のための改良復旧を行う。
- ①河川災害復旧助成事業 1,000,000千円
(対象施設) 上溝川(横手市) 築堤工、護岸工等
- ②災害関連事業 150,000千円
(対象施設) 淀川(大仙市) 築堤工
- ③河川改修事業 1,180,000千円
(対象施設) 芋川(由利本荘市) 河道掘削
福部内川(大仙市) 築堤工 ほか 計4箇所
- ④国直轄河川事業負担金 475,332千円
(対象施設) 雄物川(秋田市、大仙市) 築堤工、河道掘削等
- ⑤災害関連緊急治山等事業 24,337千円
(対象施設) ガツゴ地区(由利本荘市) 治山ダム工 ほか計9箇所
- (2) 災害査定調査事業 971,802
被害を受けた道路や河川等の公共土木施設について、災害査定申請に必要な調査を行う。

II 「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」に基づく事業

1 産業構造の転換に向けた産業・エネルギー戦略

- (1) ㊦ローカルイノベーション誘発促進事業 10,529
地方を担う人材育成を促進するとともに産業の振興を図るため、県外企業と地元研究機関・県内企業が秋田を拠点に共同で取り組む研究活動を支援する。
・事業内容 秋田の素材を用いた機能性発酵食品の研究開発
比内地鶏等を用いた調味料の開発と商品化
- (2) ㊦国際教養大学を起点としたグローバルビジネス人材育成事業 1,732
県内企業の海外展開やインバウンドビジネスの促進を図るため、国際教養大学の教育資源を活用し、グローバルな視点を備えた企業人材を育成する。

- ・事業内容 「グローバルビジネス人材育成プログラム等を検討するための協議会」の設立等
キックオフフォーラムの開催
外国人留学生による県内企業訪問・意見交換会

(3) ⑧新世代パワーユニット中核拠点創生事業 3,234

自動車・航空機産業において今後拡大が見込まれる電動パワーユニット分野への参入拡大を図るため、モーターコイルに関する高い技術力を有する県内企業を中心となった、コイル製造の一貫工程化等に向けた取組を支援する。

- ・事業主体 複数企業で構成する事業組合
- ・事業内容 設備開発への支援（県 1/3）、技術習得への支援（県 1/2） 等

2 国内外に打って出る攻めの農林水産戦略

(1) 林業・木材産業構造改革事業 139,859

- ①木質バイオマス関連施設の整備 38,125 千円
大館市の観光交流施設におけるペレットボイラーの整備に対し助成する。
・補助率 国 1/2
- ②木材加工流通施設の整備 96,500 千円
木材関連業者が行う木材乾燥機等の整備に対し助成する。
・補助率 国 1/2
- ③コンテナ苗生産基盤の整備 5,234 千円
種苗業者が行うコンテナ苗生産施設等の整備に対し助成する。
・補助率 国 1/2

3 未来の交流を創り、支える観光・交通戦略

(1) ⑧あきた発酵ツーリズム推進事業 8,992

国内外からの交流人口の拡大を図るため、本県が誇る優れた発酵食文化を体験型コンテンツとして活用した観光誘客を促進する。

- ・事業内容 推進協議会の設立及びフォーラムの開催
「発酵の国あきた」を印象づけるプロモーションの企画
Webサイトの立ち上げ

(2) 県・市連携文化施設整備事業 103,894

基本設計案を踏まえ、実施設計・周辺建物事前調査を行う。

<継続費>

- ・事業内容 実施設計、県民会館解体工事、埋蔵文化財調査、土地取得費、建物移転補償費 等
- ・総事業費 約 26 億円
- ・設定期間 平成 29～32 年度

<債務負担行為>

○秋田の観光宣伝力強化事業

(4,580)

平成30年秋のJR東日本重点販売地域指定と連動した大型観光キャンペーンに向け、PRに用いるガイドブック及びポスターのデザインを制作する。

・設定期間 平成30年度

4 元気な長寿社会を実現する健康・医療・福祉戦略

(1) 認知症疾患医療センター運営事業

649

地域における認知症医療と介護の充実等を図るため、新たに開設する認知症疾患医療センターの運営に要する経費に対し助成する。

・補助先 菅原病院(由利本荘・にかほ医療圏)

・業務内容 医療機関等から紹介された患者の病名の特定
治療方針等診療情報の提供
県民からの専門医療相談対応 等

・補助率 国1/2、県1/2

(2) 地域介護福祉施設等整備事業

37,589

社会福祉法人等が行う施設整備等に対し助成する。

・補助先 1施設(大仙市、看護小規模多機能型居宅介護事業所)

・補助率 定額

(3) 医療提供体制整備費補助事業

46,959

へき地医療の充実・強化に要する設備整備や、スプリンクラー等の整備を行う医療機関に対し助成する。

①へき地医療拠点病院設備整備事業

12,738千円

・補助先 男鹿市(男鹿みなと市民病院)

・補助率 国1/2、県1/2

②有床診療所等スプリンクラー等施設整備事業

34,221千円

・補助先 スプリンクラー施設 3施設

火災通報装置 1施設

・補助率 国10/10

(4) 総合診療・家庭医養成事業

1,671

総合診療・家庭医を養成するため、総合診療・家庭医研修センター(秋田厚生医療センター)で専門医養成研修を行う。

5 未来を担う教育・人づくり戦略

- (1) 秋田工業高等学校整備事業 214,471
石綿含有建築用仕上塗材の除去工事の追加に伴い、継続費の事業期間を延長するとともに、総事業費を増額する。
・期 間 平成 24～30 年度（変更前 平成 24～29 年度）
・総事業費 約 69 億円（変更前 約 66 億円）

<債務負担行為>

- 県立美術館・近代美術館特別展開催事業 (49,081)

県民に多彩な芸術鑑賞の機会を提供するため、特別展を開催する。

①県立美術館

- ・事業内容 宝塚歌劇展 (H30.4-6)
ピーターラビットの世界展 (H30.7-9)
千住博展 (H30.9-11)
歌川広重展 (H31.1-3)
- ・事業費 32,930 千円
- ・設定期間 平成 30 年度

②近代美術館

- ・事業内容 北斎の富士展 (H30.4-6)
チームラボ★アイランド展 (H30.6-9)
鴻池朋子展 (H30.9-11)
横山津恵展 (H30.12-H31.2)
- ・事業費 16,151 千円
- ・設定期間 平成 30 年度

Ⅲ 公共事業

- (1) 国庫補助事業 2,516,502
・土地改良 162,165 (10,883,426 → 11,045,591)
・林野 (再掲) 24,337 (5,974,430 → 5,998,767)
・河川 (再掲) 1,180,000 (2,830,150 → 4,010,150)
・その他 (再掲) 1,150,000 (4,861,527 → 6,011,527)
- (2) 県単独事業 20,000
・港 湾 20,000 (287,800 → 307,800)
- (3) 国直轄事業負担金 (再掲) 475,332
・土 木 475,332 (8,042,061 → 8,517,393)

<債務負担行為>

○国庫補助事業		(1,985,400)
・地方道路交付金事業(補修)	751,400千円	
・河川改修事業	380,000千円	
・地方道路交付金事業(改築)	300,000千円	
・地方道路交付金事業(雪寒)	212,000千円	
・地方道路交付金事業(交通安全)	162,000千円	
・海岸防災対策事業	120,000千円	
・火山砂防事業	60,000千円	

○県単独事業		(1,491,359)
・県単道路補修事業	772,559千円	
・環日本海クルーズ推進事業	328,000千円	
・地方道路等整備事業	212,000千円	
・県単道路改築事業	116,000千円	
・県単道路除雪事業	37,800千円	
・県単河川改良事業	15,000千円	
・地方街路整備事業	10,000千円	

IV 人件費 △771,915

人事委員会勧告及び実績見込みに基づき、給与費を補正する。

V その他

<債務負担行為>

○広報事業		(88,552)
広報紙やテレビ等により、県政情報を提供する。		
・設定期間	平成30年度	
○県庁舎維持管理事業		(59,593)
議会棟議場の天井脱落防止工事を実施する。		
・設定期間	平成30年度	
○交通安全施設整備・維持管理事業		(60,000)
消雪期の早い段階において、横断歩道や車両のはみ出し禁止線等の再塗装を実施する。		
・設定期間	平成30年度	



知事のタイ訪問結果について

平成29年11月21日
企画振興部
観光文化スポーツ部
農林水産部

11月9日から12日にかけて、知事をはじめ県内2名の首長や、商業・貿易団体、金融機関関係者など、計33名がタイを訪問し、本県への教育旅行を含む観光誘客やスポーツ交流の促進、秋田牛などの県産食材の海外販路拡大のため、現地関係機関との交流に関する趣意書・合意書の締結のほか、意見交換や秋田のPR等を行った。

タイ訪問の結果と今後の対応について

【観光分野】

- 秋田・タイの観光交流を推進するため、タイ政府観光庁及びスポーツ庁を管轄する観光スポーツ大臣と面談し、交流促進に係る協力を要請したほか、観光庁と交流推進に係る趣意書を締結した。
- 10月に本県を訪れたバンコククリスチャンカレッジを訪問し、秋田県への教育旅行の実施を要請したほか、クルーズ船を活用した訪日旅行を実施している旅行会社を訪問し、秋田への誘客拡大を要望した。
- 今後は、タイにおける本県の認知度向上を図るため、現地メディアやSNSを通じた情報発信を強化するとともに、農家民宿や教育旅行など、本県の特徴を生かした新たな商品の造成や販売強化に取り組んでいく。

【スポーツ分野】

- スポーツ全般に関する交流を図るため、タイ政府スポーツ庁と「スポーツ交流に関する基本合意書」を締結したほか、タイバレーボール協会を訪問し、2020年東京オリンピック事前合宿の誘致に向けた意見交換を行った。
- 今後は、バレーボールやカヌー、パラリンピック競技について、事前合宿誘致に向け取り組んでいく。

【農林水産分野】

- タイの和牛取扱レストランやマスコミ等の関係者を招待し、秋田牛のプロモーション試食会を開催した。また、秋田牛を提供しているレストランを訪問し、継続的な取扱を要請した。いずれにおいても秋田牛は高い評価を受け、新規取引希望の声も出ていた。
- 今後は、タイで実施している「秋田牛フェア」を通じ、秋田牛の認知度向上に取り組むとともに、秋田産のりんごや日本なし等の青果物も含めた農畜産物の輸出拡大を目指していく。

【海外県人会との交流】

- タイ秋田県人会が中心となったアセアン地域秋田県人会交流会に参加した。シンガポール秋田県人会からも参加があり、日頃の御労苦をねぎらうとともに、県関係事業に対する協力を依頼した。
- 今後は、県人会のネットワークの拡大を宣言したタイ秋田県人会と連携し、各国において、秋田の魅力発信や県内企業の進出、観光誘客等多岐にわたる分野での一層の協力を要請していく。